

科目コード	N205
授業科目名	健康教育学基礎
授業科目名(英文)	Health Education (Basics)
講義室等	1102
学科	看護学科
対象学年	2年
開講学期	後学期
必修・選択の別	必修
単位数	1
時間数	15
該当ディプロマ	◎看DP-2
該当コンピテンス	◎看CP-3、○看CP-4、△看CP-5
学科	
対象学年	
開講学期	
必修・選択の別	
単位数	
時間数	
該当ディプロマ	
該当コンピテンス	
担当教員	栗山 知子
授業の概要	個人または集団が健康的な生活を維持、向上、改善するための働きかけとしての健康教育の意義を、理論に基づき理解する。そのうえで、健康課題やニーズに応じて、対象の必要な知識の習得と態度の獲得、そして主体的な行動変容を導くための看護職としての支援のあり方と実践の基礎を学ぶ。
授業の到達目標 (学修効果)	1. 健康教育の定義や目的、およびヘルスプロモーションとの関連を説明できる。 2. 成人の生活行動の特性を理解し、健康教育の対象者をアセスメントするうえで必要な視点を説明できる。 3. 健康的な行動変容を促す理論や療法について説明できる。 4. 事例をもとに行動変容を促す健康教育方法について具体的に検討し、説明できる。
予習復習の所要時間	講義時間16時間(2時間×1コマ×8回)+予習・復習29時間
成績評価方法	定期試験(80%)、授業の取組および演習への参加の姿勢(20%)で60点以上を合格とする。
教科書	講義資料を授業にて配付する
参考書	①宮坂忠夫、川田智恵子、吉田両亨編著、「最新保健学講座別巻1 健康教育論」最新版(メジカルフレンド社)、ISBN978-4-8392-2178-2、C3347 ②松本千明著「健康行動理論の基礎」第2版(医歯薬出版株式会社)、ISBN978-4-263-71068-5
その他	ワーク内容の調整のため進行や日程は変更する可能性がある。

回	年月日	曜日	時限	授業項目	授業の形態	講師	非常勤	備考
1	R7.10.6	月	I	健康教育の歴史と定義、ヘルスプロモーションにおける位置付け	講義	栗山 知子		
				予習 シラバスを確認し、授業の概要を把握して くこと				
				復習 科目の全体像をつかめるように内容を復習 し、自分にとっての授業を受ける目的を確認 する				
2	R7.10.20	月	I	健康教育の場と対象、医療従事者の役割	講義	栗山 知子		
				予習 自身の経験のなかで健康教育を受けた機会 やその内容を振り、可能であれば家族にも 話を聞く				
				復習 授業内容の振り返りを行う				
3	R7.10.27	月	I	健康保持増進に関連する国の施策と健康教 育	講義	栗山 知子		
				予習 公衆衛生学「成人保健と健康増進対策」の 講義資料を復習する				
				復習 授業内容の振り返りを行う				
4	R7.11.10	月	I	健康教育の対象者のアセスメント	講義	栗山 知子		
				予習 成人期にある人の生活や健康問題の特徴に ついて関連科目(成人看護学概論等)でこ れまで学んだ内容を復習する				
				復習 授業内容の振り返りを行う				
5	R7.11.17	月	I	ヘルスリテラシーに関連する因子と健康へ の影響	講義	栗山 知子		
				予習 ヘルスリテラシーについてを調べる				
				復習 授業内容の振り返りを行う				
6	R7.12.1	月	I	健康的な行動変容を促すアプローチ法とそ の効果	講義	栗山 知子		
				予習 行動療法・認知行動療法について関連科目 (人間の心理等)でこれまで学んだ内容を 復習する				
				復習 授業内容の振り返りを行う				
7	R7.12.8	月	I	対象規模別の教育方法、媒体となる教材の 種類や特徴	講義	栗山 知子		
				予習 どのような健康教育の媒体があるか、影響 度も含めて考える				
				復習 授業内容の振り返りを行う				
8	R7.12.15	月	I	自主グループやコミュニティ参加	講義・演習	栗山 知子		
				予習 地域ケアシステムづくりなど関連科目(公 衆衛生看護学概論等)でこれまで学んだ内 容を復習する				
				復習 授業内容の振り返りを行う				